

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 平成30年5月29日提出

【発行者名】 アムンディ・ジャパン株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役 ローラン・ベルティオ

【本店の所在の場所】 東京都千代田区内幸町一丁目2番2号

【事務連絡者氏名】 甕 隆敏

【電話番号】 03-3593-5957

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（米ドルコース）
<年2回決算型>
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（メキシコペソコース）
<年2回決算型>

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】 各ファンドにつき 継続募集額 上限 8,000億円

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1. 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

5月11日の書面決議の結果を受け、投資信託約款の変更を行いましたので、平成30年1月10日付にて提出いたしました有価証券届出書（平成30年4月6日に提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み。以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部に訂正もしくは追加を行うため、本訂正届出書を提出するものであります。併せて添付した投資信託約款の変更を行います。

2. 【訂正事項】

原届出書の内容は本訂正届出書の内容に訂正されます。

下線部_____は、訂正もしくは追加個所を示します。

第一部【証券情報】

(12)【その他】

その他

原届出書の「第一部 証券情報 (12) その他 その他」の全文が次の通り更新されます。

委託会社へのお問合せ先

アムンディ・ジャパン株式会社
お客様サポートライン 0120-202-900(フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス : <http://www.amundi.co.jp>



平成30年5月11日

投資家の皆さまへ

アムンディ・ジャパン株式会社

「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド<毎月決算型/年2回決算型>」 書面決議結果のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、追加型証券投資信託「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド<毎月決算型/年2回決算型>」（以下「各コース」または「各ファンド」といいます。）につきまして、平成30年4月9日現在の受益者の皆さまを対象に書面決議を行いました。

その結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成を得られましたので、当初の予定通り以下の手続きを行うことといたしました。

今後とも引き続きどうぞよろしくごお願い申し上げます。

敬具

記

【決議結果】投資信託約款の変更（投資対象ファンドの入替）

対象ファンド（次の各通貨コースの＜毎月決算型＞および＜年2回決算型＞）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（米ドルコース）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（メキシコペソコース）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）

約款変更の内容および変更適用日

平成30年5月30日を約款変更の適用日とし、当該日以降、上記各コースの主要投資対象とするシェアクラスから新たなシェアクラスに順次入替を行います。

【米ドルコース、豪ドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコースの場合】

ルクセンブルク籍投資信託「ストラクチュラ - 欧州ハイ・イールド・ボンド」の円建シェアクラスから、欧州証券市場監督局（ESMA）の新規制に対応した同投資信託の各通貨建シェアクラスに順次入替を行います。

【ブラジルリアルコースの場合】

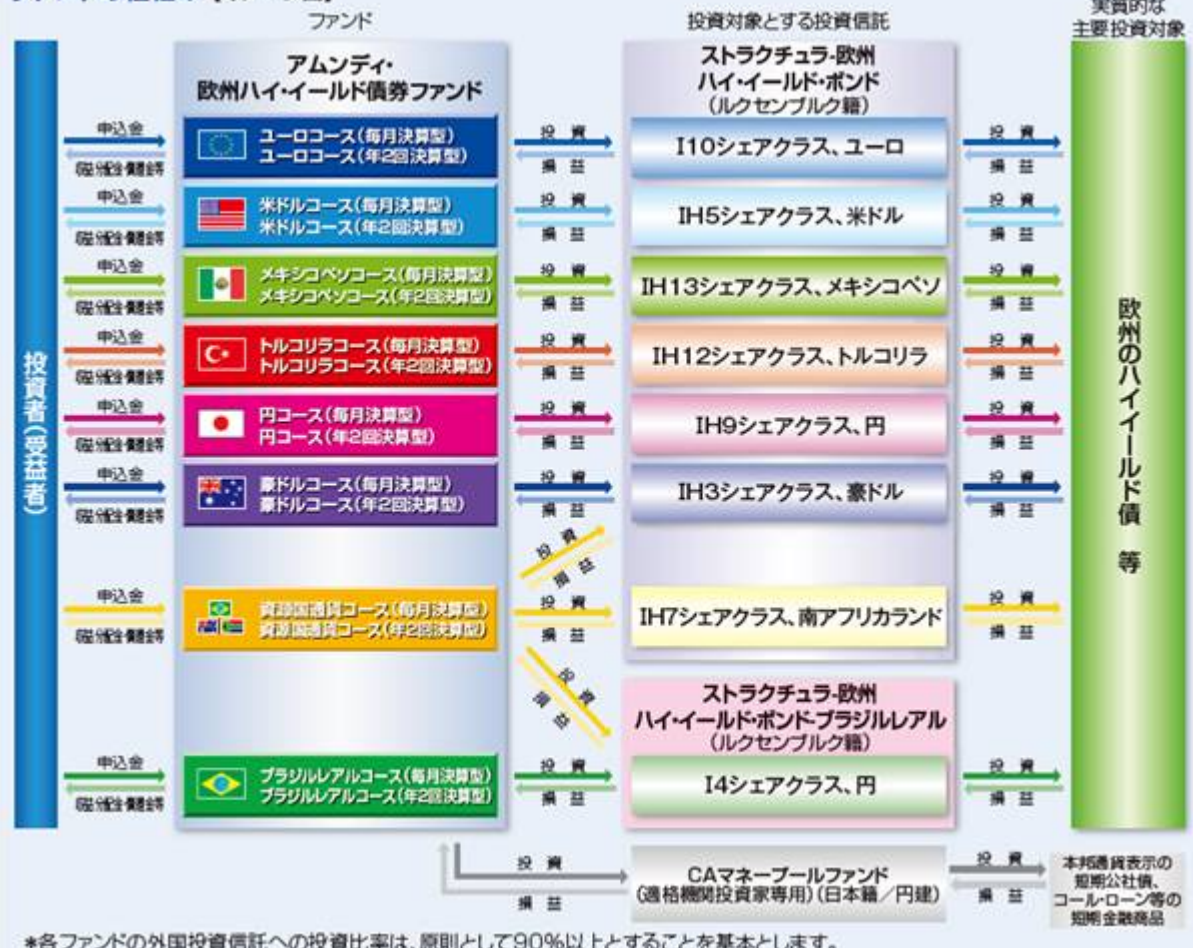
ルクセンブルク籍投資信託「ストラクチュラ - 欧州ハイ・イールド・ボンド」の円建シェアクラスから、欧州証券市場監督局（ESMA）の新規制に対応した同様の投資信託「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル」の円建シェアクラスに順次入替を行います。

【資源国通貨コースの場合】

ルクセンブルク籍投資信託「ストラクチュラ - 欧州ハイ・イールド・ボンド」の円建シェアクラスから、欧州証券市場監督局（ESMA）の新規制に対応した同投資信託の各通貨建シェアクラスおよび同様の投資信託「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル」の円建シェアクラスに順次入替を行います。

これに伴い、各コースのファンドの仕組み図は以下の通りとなります。

ファンドの仕組み【イメージ図】



また、各コースが主要投資対象とするルクセンブルク籍の投資信託の概要は次の通り（変更箇所のみ）となります。「主な投資制限」、「収益分配方針」、「運用プロセス」、「投資顧問会社」、「副投資顧問会社」は変更ありません。

外国籍投資信託																									
ファンド名	<ul style="list-style-type: none"> ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(I10シェアクラス、ユーロ) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(IH5シェアクラス、米ドル) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(IH3シェアクラス、豪ドル) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(IH7シェアクラス、南アフリカランド) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(IH13シェアクラス、メキシコペソ) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(IH12シェアクラス、トルコリラ) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド(IH9シェアクラス、円) ■ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド-ブラジルリアル(I4シェアクラス、円) 																								
ファンドの形態	ルクセンブルク籍会社型投資信託																								
ファンドの特色	欧州のハイイールド債を主要投資対象とし、インカムゲインの確保に加え、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。 また、ブラジルリアルにおいては、上記に加え、実質的なユーロ建資産を、原則として対ブラジルリアルで為替取引を行います。																								
投資方針	<p>1) 投資対象</p> <p>①欧州のハイイールド債を主要投資対象とします。</p> <p>②外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用します。</p> <p>2) 投資態度</p> <p>①原則として、純資産総額の4分の3以上をハイイールド債に投資します。</p> <p>②原則として、欧州のハイイールド債を中心に投資します。</p> <p>③原則として、純資産総額の4分の3以上をユーロ建の資産に投資します。ユーロ建以外の資産への投資は純資産総額の4分の1を上限とします。</p> <p>④ユーロ建以外の資産に投資する場合、原則として対ユーロで為替取引を行います。</p> <p>⑤投資適格債に投資する場合がありますが、その投資割合は原則として純資産総額の20%以内とします。</p> <p>⑥各シェアクラスにおいて、実質的なユーロ建資産に対して原則として以下の為替取引または対円での為替ヘッジを行います（除くブラジルリアル(I4シェアクラス、円)）。</p> <p>⑦ストラクチャ-欧州ハイイールド・ボンド-ブラジルリアルは、ファンドにおいてユーロ建資産に対して原則としてブラジルリアルで為替取引を行います。なお、I4シェアクラス、円(円建)において為替取引は行いません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シェアクラス</th> <th>通貨建</th> <th>為替取引等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I10シェアクラス、ユーロ</td> <td>円</td> <td>実質的にユーロ建資産を保有します。</td> </tr> <tr> <td>IH5シェアクラス、米ドル</td> <td>米ドル</td> <td>実質的なユーロ建資産を、原則として対米ドルで為替取引を行います。</td> </tr> <tr> <td>IH3シェアクラス、豪ドル</td> <td>豪ドル</td> <td>実質的なユーロ建資産を、原則として対豪ドルで為替取引を行います。</td> </tr> <tr> <td>IH7シェアクラス、南アフリカランド</td> <td>南アフリカランド</td> <td>実質的なユーロ建資産を、原則として対南アフリカランドで為替取引を行います。</td> </tr> <tr> <td>IH13シェアクラス、メキシコペソ</td> <td>メキシコペソ</td> <td>実質的なユーロ建資産を、原則として対メキシコペソで為替取引を行います。</td> </tr> <tr> <td>IH12シェアクラス、トルコリラ</td> <td>トルコリラ</td> <td>実質的なユーロ建資産を、原則として対トルコリラで為替取引を行います。</td> </tr> <tr> <td>IH9シェアクラス、円</td> <td>円</td> <td>実質的なユーロ建資産を、原則として対円での為替ヘッジを行います。</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>	シェアクラス	通貨建	為替取引等	I10シェアクラス、ユーロ	円	実質的にユーロ建資産を保有します。	IH5シェアクラス、米ドル	米ドル	実質的なユーロ建資産を、原則として対米ドルで為替取引を行います。	IH3シェアクラス、豪ドル	豪ドル	実質的なユーロ建資産を、原則として対豪ドルで為替取引を行います。	IH7シェアクラス、南アフリカランド	南アフリカランド	実質的なユーロ建資産を、原則として対南アフリカランドで為替取引を行います。	IH13シェアクラス、メキシコペソ	メキシコペソ	実質的なユーロ建資産を、原則として対メキシコペソで為替取引を行います。	IH12シェアクラス、トルコリラ	トルコリラ	実質的なユーロ建資産を、原則として対トルコリラで為替取引を行います。	IH9シェアクラス、円	円	実質的なユーロ建資産を、原則として対円での為替ヘッジを行います。
シェアクラス	通貨建	為替取引等																							
I10シェアクラス、ユーロ	円	実質的にユーロ建資産を保有します。																							
IH5シェアクラス、米ドル	米ドル	実質的なユーロ建資産を、原則として対米ドルで為替取引を行います。																							
IH3シェアクラス、豪ドル	豪ドル	実質的なユーロ建資産を、原則として対豪ドルで為替取引を行います。																							
IH7シェアクラス、南アフリカランド	南アフリカランド	実質的なユーロ建資産を、原則として対南アフリカランドで為替取引を行います。																							
IH13シェアクラス、メキシコペソ	メキシコペソ	実質的なユーロ建資産を、原則として対メキシコペソで為替取引を行います。																							
IH12シェアクラス、トルコリラ	トルコリラ	実質的なユーロ建資産を、原則として対トルコリラで為替取引を行います。																							
IH9シェアクラス、円	円	実質的なユーロ建資産を、原則として対円での為替ヘッジを行います。																							

なお、ユーロコース、円コース、ブラジルリアルコースを除く各コースの投資制限につきましては、外貨建資産への投資を可能にするため、主な投資制限は以下の通りとなります。

◎主な投資制限

- 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます)への直接投資は行いません。
- 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
【米ドルコース、豪ドルコース、資源国通貨コース、メキシコペソコース、トルコリラコース】
- 外貨建資産(外貨建資産を組入可能な投資信託証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。
【ブラジルリアルコース、ユーロコース、円コース】
- 原則として、外貨建資産への直接投資は行いません。

留意事項

ブラジルリアルコースおよび資源国通貨コースに関しましては、平成30年5月30日以降、主要投資対象とするルクセンブルク籍投資信託の入替えを行う際に、取引コストが発生しますので、基準価額の下落要因となります。

この件についてのお問合せ先

アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン

電話 0120-202-900（フリーダイヤル）（委託会社の営業日の9:00～17:00）

以上